

都市再生整備計画(第3回変更)

あ お も り そ う し ゃ じ ょ う あ と ち し ゅ う へ ん ち く
青森操車場跡地周辺地区

あ お も り け ん あ お も り し
青森県 青森市

令和3年12月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	青森県	市町村名	青森市	地区名	青森操車場跡地周辺地区	面積	100.0 ha
計画期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度	交付期間	令和 1 年度 ~ 令和 5 年度				

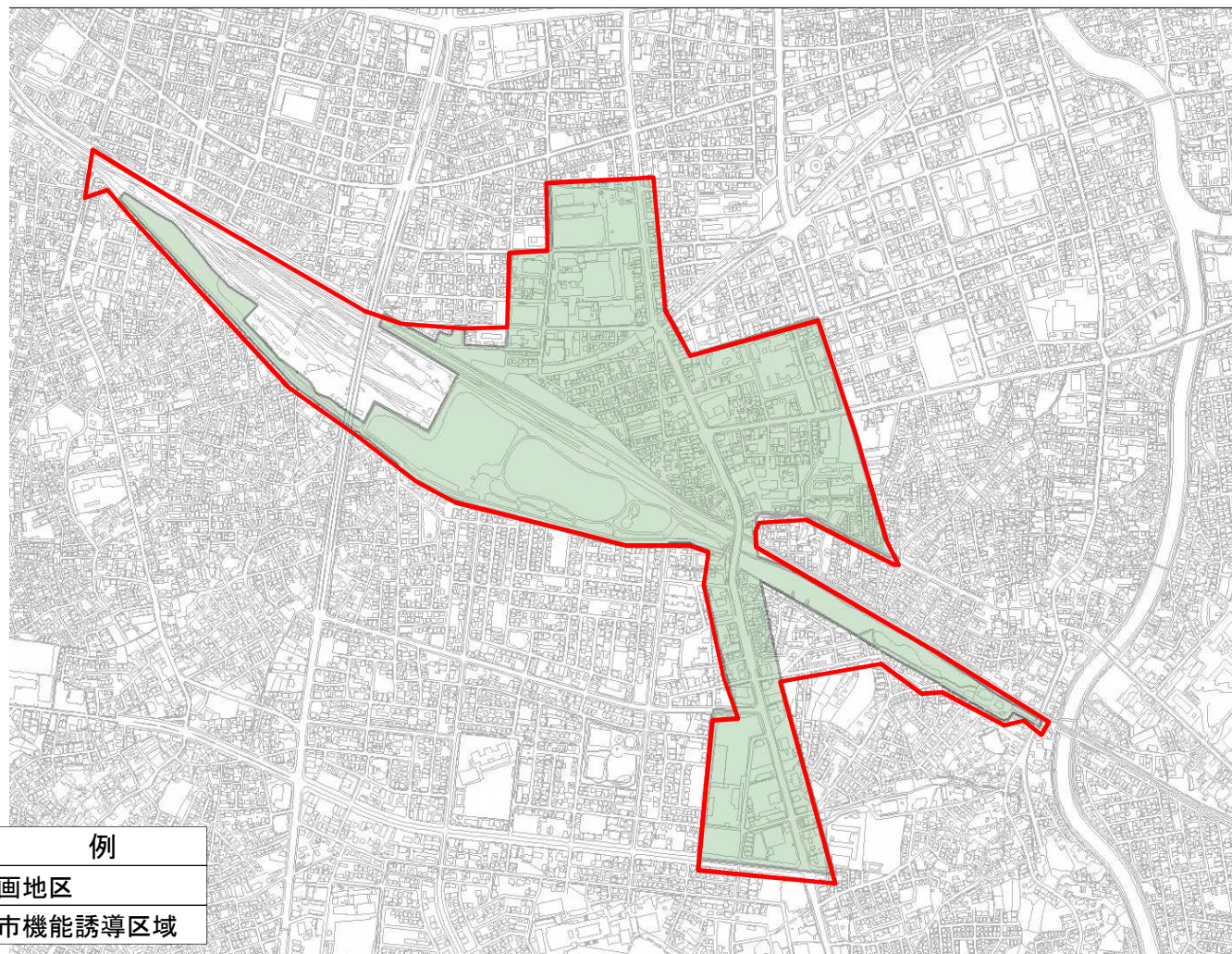
<p>目標</p> <p>大目標 地域の安心を支え、にぎわいを生み出す交流拠点の形成</p> <p>目標1 人と人の交流を促進し、にぎわいを生み出す健康・交流拠点の形成</p> <p>目標2 防災機能の強化を図ることによる、地域の安心を支える緑豊かな拠点の形成</p>
<p>目標設定の根拠</p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <p>青森市では、平成30年3月に策定した「青森市立地適正化計画」において、『コンパクト・プラス・ネットワーク』の都市づくりを基本理念とし、持続可能な都市づくりを推進することとしている。</p> <p>このうち、都市機能誘導区域の一つである「青森駅周辺地区」において、最近では、青森市の窓口部門を集約化した市役所駅前庁舎のオープンや、駅前に移転した青森商工会議所会館の1階に青森スタートアップセンター・ビジネス交流拠点「あおび」を開設したところであり、賑わいの再生につながる、新たな人の流れが創出されているところである。今後は、鉄道により分断された東西市街地を結ぶとともに、バリアフリーに対応した青森駅自由通路を整備しているほか、民間の市街地再開発事業などを支援し、魅力的な拠点整備に取り組むこととしている。</p> <p>また、「操車場跡地周辺地区」においては、平成31年3月に策定した「青森操車場跡地利用計画」に基づき、鉄道駅の整備について関係機関と協議するとともに、自由通路及び駅前広場等を整備することとしているほか、市民の健康づくりとスポーツ振興に加えて、交流人口の拡大を図るため、多様な催事ができる交流拠点((仮称)青森市アリーナ等)を整備する「青森市アリーナプロジェクト推進事業」を行っているところである。当該事業では、(仮称)青森市アリーナの整備と併せ、都市公園である青い森セントラルパークにおいて公募設置管理制度(Park-PFI)を活用し、魅力の創出を図ることとしている。</p> <p>このほか、リノベーションまちづくりや、公共空間の利活用を通じた人材育成等にも取り組むこととしており、各拠点においては、ハード・ソフトの総合的な取組により、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを目指すこととしている。</p>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>【本市上位計画における位置づけ】</p> <p>○ 「青森市総合計画(平成31年2月策定)」では、効率的で計画的な土地利用の推進について、公共交通ネットワークとの連携と医療・商業等の都市機能の立地の促進により、コンパクトな複数の拠点づくりを進めることとし、青森操車場跡地周辺地区では、子育て施設、福祉施設、医療施設等の都市機能が集積した拠点として、これまでの既存ストックを有効活用するとともに、これらの都市機能の施設の集積を図ることとしている。</p> <p>○ 「青森市立地適正化計画(平成30年3月策定)」では、青森操車場跡地周辺地区は都市機能誘導区域の一つに設定されており、青森地区の市街化区域の中央部に位置し、子育て、福祉、医療等の都市機能が集積していることから、既存ストックを有効活用するとともに、青森操車場跡地の利活用を図り、防災の拠点として都市機能の立地を促進することとしている。</p> <p>○ 「青森市緑の基本計画(平成28年3月策定)」では、公園、緑地の整備にあたっては、避難所や避難路及び延焼遮断帯等、都市防災上の空間確保のため、他の都市基盤施設との連携を図りながら進めるとともに、防災機能を有した公園としての機能向上を図ることとしている。また、青森操車場跡地周辺地区(青い森セントラルパーク及び周辺地区)は緑化重点地区として位置づけられている。</p>
<p>【経緯及び現況】</p> <p>○ 青森操車場跡地の有効活用を図るため、平成9(1997)年11月に「青森操車場跡地利用構想」を策定し、平成10年3月に日本国有鉄道清算事業団から同跡地を青森県とともに取得するとともに、その一部を整備し、平成15年4月に「青い森セントラルパーク」を開園した。</p> <p>○ 平成24年4月に策定した「青森操車場跡地利用計画素案」や様々な市民意見等を踏まえ、平成25年3月に青森操車場跡地利用計画審議会から土地利用の方向性について答申書が提出された。</p> <p>○ 平成30年1月、青森操車場跡地にスポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点としてアリーナを整備することにより、市民の健康づくりとスポーツ振興に加えて交流人口の拡大を図り、経済効果を生み出す青森市アリーナプロジェクトの実施を公表した。</p> <p>○ 平成31年3月に、青森操車場跡地の利活用の方向性について定めた、「青森操車場跡地利用計画」を策定した。</p>
<p>課題</p> <p>○ 青森操車場跡地の有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森操車場跡地については、都市機能誘導区域を含むまとまった敷地であることから、多様なにぎわいの創出に向けた有効活用が必要となっている。 <p>○ 大規模な自然災害への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 2011年の東日本大震災、2018年の北海道胆振東部地震のほか、近年、全国各地で発生している大規模地震や局地的な集中豪雨とそれに伴う土砂災害、予期せぬ降雪による被害など、全国的に見て大規模な自然災害が多発しており、災害に備えた、安心安全なまちづくりが必要となっている。 <p>○ 高齢化の進展への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国の2017年における高齢化率は27.7%、平均寿命は男性81.09歳、女性87.26歳であるのに対し、本市の高齢化率(2017年)は、29.3%と全国平均よりも高く、また、平均寿命(2015年)は男性78.9歳、女性85.7歳と、ともに全国市区町村の中でも下位に位置しており、健康寿命の延伸を図り、生涯現役として活躍することができるまちづくりが必要となっている。 <p>○ 昭和52年に建設された市民スポーツの活動の場の中心である市民体育館は、現在、経年による老朽化が進み、建替えが必要となっている。</p>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通アクセスの更なる強化のため、計画地区と幹線道路の接続の検討。 鉄道により分断されている北側地区との接続の強化。

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1 人と人の交流を促進し、にぎわいを生み出す健康・交流拠点の形成 ・アリーナを、スポーツのみならず多様な催事ができる交流拠点として整備する。 ・周辺道路の拡幅や整備によりアリーナ周辺の交通環境を向上させる。 ・緑地、多目的広場を整備することにより、地域住民の憩いの場・交流の場として提供するほか、アリーナでのイベント時には臨時駐車場として利用する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道路」基幹事業／市道大野片岡36号線(改築)、市道南奥野44号線(改築) ・「地域生活基盤施設(緑地、広場)」基幹事業／緑地、多目的広場 ・「高次都市施設(地域交流センター、子育て世代活動支援センター)」基幹事業／【(仮称)青森市アリーナ】多目的ルーム、キッズルーム ・「社会資本整備総合交付金 都市公園・緑地等整備事業 都市公園事業」関連事業／(仮称)青森市アリーナ整備 ・「社会資本整備総合交付金 都市公園・緑地等整備事業 官民連携型賑わい拠点創出事業」関連事業／青い森セントラルパーク整備
<p>整備方針2 防災機能の強化を図ることによる、地域の安心を支える緑豊かな拠点の形成 ・アリーナを指定避難所などの防災拠点として整備する。 ・地震や集中豪雨などの災害に強いまちとするため、緑地、多目的広場を整備するほか、避難経路となる周辺道路を拡幅する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「道路」基幹事業／市道大野片岡36号線(改築)、市道南奥野44号線(改築) ・「地域生活基盤施設(緑地、広場)」基幹事業／緑地、多目的広場 ・「地域生活基盤施設(地域防災施設)」基幹事業／防災備蓄倉庫、【青森市アリーナ】防災備蓄倉庫 ・「社会資本整備総合交付金 都市公園・緑地等整備事業 都市公園事業」関連事業／(仮称)青森市アリーナ整備 ・「社会資本整備総合交付金 都市公園・緑地等整備事業 官民連携型賑わい拠点創出事業」関連事業／青い森セントラルパーク整備
その他	

都市再生整備計画の区域

青森操車場跡地周辺地区(青森県青森市)	面積 100.0 ha	区域 青森市大野字北片岡、浦町字橋本、中央四丁目の全部 中央二丁目、中央三丁目、勝田一丁目、奥野一丁目、奥野四丁目、浦町字奥野、浜田字豊田、桂木四丁目、緑三丁目、大野字長島の一部
---------------------	----------------	---

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。



凡 例	
[Red outline]	計画地区
[Green shading]	都市機能誘導区域

青森操車場跡地周辺地区(青森県青森市) 整備方針概要図(都市構造再編集中支援事業)

目標	地域の安心を支え、にぎわいを生み出す交流拠点の形成	代表的な指標	市民が交流活動できる環境に関する満足度 (%)	34.0 (H30年度) →	40.0 (R6年度)
			市民体育館(アリーナ)の利用者数 (人/年)	162,870 (H28年度) →	265,893 (R6年度)
			地区の安心・安全性に関する満足度 (%)	33.5 (H30年度) →	40.0 (R6年度)

